

# 菊西学舎だより

令和5年6月号

— 地域と共に生きる菊西学舎の子 —

(菊川西中、堀之内小、加茂小、横地小、内田小)

## 小中一貫教育「学びの庭」構想の推進



この小中一貫教育「学びの庭」構想は、中学校区を一つの学び舎（学舎）とし、小中学校間のためたの接続と、学校と地域社会のよこの連携を基盤として、子どもたちを学校と地域で連携協働して育てていこうとするものです。

これまで2年間、菊西学舎運営協議会を開いて、学舎の子どもたちのめざす子ども像やそのための手立てについて協議をしてきました。また、学舎内各小中学校においては、これまで取り組んできた様々

な地域のひと・もの・ことの活動を、学舎における地域との連携協働という視点で見つめ直し、活動を進めてきました。

これからはさらに推進の手立ての一つとして、「コミュニティ・スクール」を導入していきます。「コミュニティ・スクール」とは、学校運営協議会を設置した学校を指します。この学校運営協議会では、学校の経営方針の承認や学校運営への意見表明、教職員の任用についての意見表明を行うことが、主なはたらきとなっています。これからの学校は、学校だけでは十分な教育活動を実施するのは難しい状況であり、学校と地域や保護者が、目標やねらいを共有して、一体となって進めることが求められています。「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」へと進んでいかななくてはなりません。そして、地域課題の解決に向けて協議して、よりよい地域づくりにつなげていくことも含めて考えていくこととなります。現在の複雑多様化している社会情勢や、コロナ禍のように予測不能な事態の発生に対して、何が課題かを明らかにし、それに関わる情報を集め、整理・分析し、よりよい形で改善向上を図っていくという取組が大切になっています。

めざす子ども像の育成に向け、「学びの庭」構想、「コミュニティ・スクール」の取組を進めていきます。

### 【学びの庭】小谷小と小谷村教育委員会のみなさん来校 横地小 5月19日

菊川市では、友好都市協定を結んでいる長野県小谷村との交流を続けています。今年度は、横地小学校の5年生が交流会を実施します。それに先立ち、事前打合せに小谷小学校長、5年生担任、小谷村教育委員会職員が横地小学校に来てくださいました。

実際に小谷村の子どもたちが来て、小谷小学校での生活や地域の様子を交流できることが、今から楽しみです。



## 【学びの庭】 いつも見ているところなのに 堀之内小3年 5月10日

3年生が学区を探検しました。日頃よく通っていた所でも、ゆっくり時間をかけて見てみると、知らなかったことや気付かなかったことなど、新しい発見がありました。子ども同士で情報交換することで、さらに発見が広がります。

このような活動を通して自分たちが暮らしている地域のよさを知り、愛着も持つことができるようになることでしょう。



## 【学びの庭】 加茂小と横地小との交流 加茂小5年 5月2日



横地小学校5年生が、6月に合同で自然教室に行く加茂小学校5年生と交流しました。ゲームやクイズなどをして、楽しく関わることができました。名前や顔がなくなり、子どもたちは「自然教室が楽しみ!」「西中で一緒になるのが楽しみ!」と話していました。

帰りには加茂小学校の人たちが、横地小学校の子どもたちをみんなであたたかく見送っていました。

## 【学びの庭】 まちづくり出前講座 内田小6年 5月13日

「考えようふるさとの今と未来」をテーマに学習している6年生は、自分自身の見たことや感じたこと、生活して分かったことをもとに、よさや課題を見つけられました。実際にまちづくり行政を行っている市役所企画政策課の職員をお招きし、菊川市総合計画での取組について話をいただきました。「へえー」「本当に」などの反応がありました。人口減少が深刻な問題であることに気付いたり、内田地区にも公園が欲しいという意見が出されたりしました。

この学びを進めながら、「菊川市のために自分たちは何ができるか」を考えていきます。



## 【学びの庭】 菊川市観光大使任命 菊西中 4月26日



3年生は修学旅行に出かける前に、菊川市観光大使に任命されました。修学旅行で訪れる京都や奈良で、菊川市のPRのために、観光ガイドや菊川茶をいろんな人に渡してきます。観光ガイドには菊川市の名所や特産物、イベントなどが記載されています。受け取った方が、菊川市について関心を持っていただけるといいです。現地の方々とのあたたかい交流につながることでしょう。